

平成 24 年度 卒後教育シリーズ 「新人看護師の技術のスキルアップ(静脈注射とその管理)」を開催しました

本学看護開発センターでは、卒後教育の一環として北見赤十字病院との共催により、北見赤十字病院、置戸赤十字病院、小清水赤十字病院の新人看護師の皆さんを対象とした技術のスキルアップ研修を平成 24 年 4 月 20 日(金)に 32 名の参加を得て実施しました。

研修の趣旨

新人看護師は 4 月 1 日の入職と同時に患者様のケアに対する実践を求められます。単独でもすぐに確実に行う必要のある技術の一例として、点滴静脈内注射の抜針・止血や穿刺、セット交換などが挙げられます。しかし、看護教育における卒業時到達目標は、モデル人形での操作が確実に行えるレベルをミニマムコンセンサスとしている現状があるため、入職直後に技術訓練の機会を設ける必要性は極めて高いものです。そこで、継続教育の一環として臨床現場に即応できる実践能力を養うための研修事業を北見赤十字病院と共催で企画しました。

研修の概要

1. 講義

- ①点滴静脈内注射にまつわる留意事項
- ②点滴静脈内注射の手技・手順、管理など



2. 演習・実技

①注射モデルでの演習および実技

- ・点滴静脈内注射の穿刺・テープ固定
- ・点滴静脈内注射の生食ロック
- ・点滴静脈内注射のセット交換
- ・点滴静脈内注射の抜針・止血



②点滴静脈内注射の穿刺の実技

